



東地中海地域ニュース

シリア：米軍によるシリア領内攻撃に対する政府内外反応 (10月29日付内外各紙報道)

1. 定例閣議

- (1)28日の定例閣議で、ダマスカスの米国学校及び米国文化センターの閉鎖が決定され、教育省及び文化省に対し、実施に対する必要な手続きを取るよう求めた。
- (2)また11月12-13日にバグダッドでの開催が予定されていたシリア・イラク高等委員会会合の延期も決定された。
- (3)閣議では、今回の攻撃について米国を非難するとともに、イラク政府報道官の声明について強い非難と驚きを表明した。

2. 国連への書簡

- (1)28日、シリア政府は、本件に関する書簡を国連事務総長および国連安保理議長宛に送付した。
- (2)書簡の中で、シリア政府は、安保理および国連加盟国に対し、このような危険な侵略行為が再発しないように責任を果たすことを求めるとともに、侵略者に対し民間人殺害の責任をとるよう求めている。

3. 各国反応

(1)フランス

民間人や子供が犠牲になる作戦を成功とみなすことはありえない。遺憾の意を表明する。

(2)レバノン

国際人道法違反であり、米国政府要人が中東の治安と安定を乱して緊張を高めたいと思っていることの表れである。

(3)UAE

シリアの国家主権に対する重大な侵害である。

(4)中国

中国は、他国の主権と領域的統合を侵害するいかなる行為にも反対する。